宇宙の神秘を傾聴し日本美を再発見した建築家タウト！

BRUNO TAUT

-青雲の志と現代-

開 催 日	2023年4月11日（火）13：30～16：00
場　　所	熱海起雲閣　音楽サロン　静岡県熱海市昭和町4-2
料　　金	無料
お申込み	熱海ブルーノ・タウト連盟　080-3217-3297 / QRコード
	一般社団法人　日本バウハウス協会web　/　QRコード
お問合せ	080-3217-3297（矢崎）
主　　催	熱海ブルーノ・タウト連盟
共　　催	一般社団法人 日本バウハウス協会

Werkbund　Weißenhofsiedlung　Bruno Taut

令和5年度 熱海ブルーノ・タウト連盟特別講座

第一部　講演　　**講師　：　ヴォルフガング・レーナート**
13：30～14：50　　**演題　■　ブルーノ・タウト 青雲の志と現代**

（休憩　10分）　　**通訳：田中辰明**

第二部　パネルトーク　　**：　ヴォルフガング・レーナート＆田中辰明**
15：00～16：00　　**演題　■　タウトの志 と SDGｓ**

ブルーノ・タウトは、シュッツトガルト大学教授であったテオドール・フィッシャー設計事務所で1904-1906年の間修業しました。1906年に師匠フィッシャーが受託した仕事「ウンターレキシンゲンの教会」の改修工事を任され、完成した後独立しました。1906年にコーリンのヘドヴィック・ヴォルガストと結婚、ベルリンで設計事務所を営みます。1910年にドイツヴェルクブンドに入会し、バウハウス初代校長のヴァルター・グロピウスと交流しました。1927年、ドイツは第一次世界大戦で敗戦し、著しく低質化したドイツの住宅を向上させようと、ドイツヴェルクブンドが行った「ヴァイセンホーフジードルングの住宅コンペ」に参加し、住宅を設計しました。タウトは常に「環境に配慮」した設計をおこなっています。

タウトの孫であるクリスチーネ・シリーの夫はオットー・シリー、タウトの環境に対する考えを高く評価し、緑の党を立ち上げた政治家。その後ドイツ社会党に転籍し、内務大臣として環境政策を推し進めました。

ヴォルフガング・レーナート

1963年	ドイツ、エスリンゲン生れ
1983年～1985年	建築仕上げの工芸教育受講
1985年～	カイザースラウテルン大学、ウイーン工科大学、 Stuttgart大学にて学ぶ。 ヴィーン、シドニー、ヴァンクーバーで実務
1994年～1996年	ヴィースバーデン市、エスリンゲン市で建築家として執務
1996年～1997年	京都大学留学（DAAD,文部省奨学生）
1999年～2008年	自営建築家/レーナート建築工房
2008年～2011年	「江戸時代の日本の民家の壁に関する研究」で工学博士/Stuttgart大学建築歴史部門
2008年～2016年	エスリンゲン市建築設備部門の責任建築家
2016年～	教会建築の企画主任建築家・南ドイツ新教皇協会
2016年～	教会建築の企画主任建築家・南ドイツ新教皇協会
2021年～	Stuttgart地域の商工会議所教育アカデミー講師
2021年～	エスリンゲン市技術アカデミー講師

田中辰明

1940年	東京生まれ
1963年３月	早稲田大学第一理工学部建築学科卒業
1965年３月	早稲田大学大学院理工学研究科建設工学専修修士課程修了
1965年４月	㈱大林組入社技術研究所勤務
1971～73年	DAAD奨学生としてベルリン工科大学ヘルマン・リーチェル研究所客員研究員
1902年４月	お茶の水女子大学生活科学部生活環境学科教授
2006年３月	お茶の水女子大学退職、名誉教授
2006年	ドイツ技術者協会よりヘルマン・リーチェルメダル授与

工学博士（早大）　国土交通大臣表彰　厚生労働大臣表彰
（一社）日本断熱住宅技術協会理事長
主著：「建築家ブルーノ・タウト一人とその時代、建築・工芸」オーム社（柚本玲共著
「「ブルーノ・タウト、日本美を再発見した建築家」中公新書
「ブルーノ・タウトと建築・芸術・社会」東海大学出版会
バウハウス関連のYouTubeを多数発信

熱海ブルーノ・タウト連盟
静岡県熱海市梅園町11-19

一般社団法人 日本バウハウス協会
杉並区高井戸西1-1-19 高井戸西館4階